



# NPO通信

## NPO新中期経営計画と実績（その2）



NPOは平成23年度から自主運営となりました。その運営を円滑に行うために平成22年度を準備年度とし、23年度から25年度までの行動指針である「新中期経営計画」を作成しました。今回は学習システムの構築について検証します。「新中期経営計画」の基本命題のひとつに

・魅力あるカリキュラムの設計。企画・運営委員会の新設、カリキュラム企画・編成委員会の再構築を掲げました。運営面からは

- 1) 会員制度の改革
- 2) 講座・ワークショップ運営ルール等諸ルールの見直しと新設
- 3) 安全対策とサポーター制度の見直し
- 4) 諸規定（要綱、会員のてびき、運営世話人のてびき、サポーターのてびき等）の見直しと新設

以上のような改良を世話人の方々との話し合いを経て実施してきましたが、カリキュラムの問題にはまだ十分な手立てを行って来たとはいえない状況でした。

ところで、魅力あるカリキュラムとはなんのでしょうか。アカデミー紹介パンフレットおよび会員制度には次のように記述されています。

・狙い：時代の半歩先を見据えた講座・ワークショップの企画

・内容：講座：広く一般市民が参加できるように内容を工夫

ワークショップ：より専門的、継続的な学習

このような内容を実現する為にはカリキュラムの構想と具体的日程表（シラバス）を作成し、くださる先生方の力量と熱意が重要であるとともに、受講生の要望をどのように織り込んでゆくのかも重要です。現在の講座やワークショップにはアカデミーの歴史的経緯から

- 1) 講座とワークショップが連結しているもの
- 2) 講座だけのもの
- 3) ワorkshopだけのもの



に多様化してきました。講座だけのものの中には政治経済と歴史や文化を融合した複合講座が多くなりました。このために複合講座の企画・編成とアカデミーのカリキュラム全体の円滑な運営の総合調整を行う組織が必要と考え、企画・運営委員会を設置しました。委員の構成は

・学長、副学長：5名      ・NPO委員：4名      ・財団代表：2名

からなり、講師団と財団やNPOが協働してより充実したカリキュラムや、それを実現する為の運営を考えて行くことにしました。このような意図に基づいて企画・運営委員会を立ち上げてから1年弱が経過し、複合講座（エクセレントⅠ、Ⅱ、Ⅲ、現代事情）の企画・編成が軌道にのり始めています。

たとえばカリキュラムの企画と日程表の作成をわけ

	前期	後期
カリキュラムの企画	前年7～9月	1～3月
日程表の作成	前年9～11月	3～5月

以上のように検討に十分な時間がとれるように致しました。また受講生の意見はエクセレント小委員会（仮称）での検討結果をNPO委員経由でカリキュラムへ反映する経路も作りつつあります。今後はNPOとして、「カリキュラムの企画」の段階で受講生の要望を反映させるようにコーディネーターと世話人（含担当理事）との間の懇談会を持つように働きかけてゆきます。「日程表の作成」段階で次期のテーマや狙いが明確になってゆくのが望ましいと考えられるからです。

複合講座では

- 1) エクセレント小委員会(仮称)においてNPO案の作成
- 2) 企画・運営委員会でのカリキュラム企画と狙いの明確化
- 3) 企画・運営委員会で日程表作成者を決定し、日程表作成を依頼

のような方式を作り上げて、他の講座・ワークショップへもコーディネーターの先生方との話し合いと同意を得てこの方式を波及させてゆくよう努めてゆきます。

## 短期集中講座の開講

短期集中講座とは、NPOアンケート等での新百合ヶ丘会場の講座の増加を希望する声にお応えしつつ、通常より少ない回数でひとつのテーマを集中して楽しめる講座です。アカデミーの良さがひとりでも多くの方に伝わり、これまで生涯学習プラザでしか開講していなかった分野等を新百合ヶ丘会場でも受講する機会が増える事を狙いとしています。多くの方々に聴講していただきこの試みが定着するようご支援下さい。

**会場：新百合21ビルB2多目的ホール**

**時間：16:30～18:00**

オペラ入門				
回	月/日(曜日)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	5/17(木)	新百合21ビル B2 多目的ホール	オペラの誕生と発展(1)	昭和音楽大学教授 藤原歌劇団公演監督 岡山 廣幸
2	5/24(木)		オペラの誕生と発展(2)	
3	5/31(木)		オペラ歌手の声と発声	

海の日本史 ～文明と文化の諸相				
回	月/日(曜日)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	6/28(木)	新百合21ビル B2 多目的ホール	日本から世界へ： 遣隋使・遣唐使、そして中国	日本大学教授 関 幸彦
2	7/12(木)		日本から世界へ：少年遣欧使節、そしてポルトガル・スペイン	
3	7/19(木)		日本から世界へ： 岩倉遣外使節、そして欧米諸国	

## 理事会報告 (詳細は議事録をご覧ください。事務局に常備してあります。)

「平成23年度12月度理事会」平成23年12月16日(金) 16:00～

審議事項：6件 報告事項：15件

主な審議事項

- ①2012年度前期受講生募集活動計画について
- ②かわさき市民アカデミー運営協議会委員の選出について
- ③講座・ワークショップの定員と採算性についての基本方針について
- ④野外学習のある講座・ワークショップの安全対策について

主な報告事項

- ①音楽ワークショップ来期の取り組みについて
- ②2011年度前期講座別損益実績と後期計画について
- ③23年度11月度決算報告について
- ④講座・ワークショップ運営ルールについて
- ⑤かわさき市民アカデミー「フェスタ'11」について

審議事項の①、②、④は検討後承認されました。③については一部2月度理事会での継続審議になりました。



## 講座・ワークショップ紹介 第5弾!

**みどり学Ⅱ 講座** ◇金曜日 午前10時～ ◇生涯学習プラザ/野外

**樹木医 石井誠治ほか**

「みどり学」と聞くと、誰しもが樹木の緑について学ぶ講座と思うことでしょうか。もちろん、植物の緑を通して森林の樹木、里山、谷戸のみどり、公園や広場の身近なみどり、市街地や緑地帯のみどり、更には、庭やベランダのみどりを始め、身近な自然に触れながら、みどりのみならず、自然を幅広く学びます。

樹木医、森林インストラクター、環境カウンセラーの資格を持つ石井誠治先生にカリキュラムを組んでいただいています。先生は、常に受講生の目線になって組まれるカリキュラムですが、何と云っても「みどり学」の一番の特徴は野外学習です。自然度の高い近郊へ出掛け、自然に触れながら幅広く学びます。樹木や草花を始め、時には動物、昆虫もこの自然環境のなかで、どう適応しながら生きていくのか、それらの生態や生き方、そして自己（種）の保存繁栄のための戦略。自然から我々の日常生活へと学ぶべきことは多くあります。それらのお話を、先生は具体的に判りやすく、そしてユーモアを交えた解説、時には駄洒落も飛び出し、実に楽しいものです。これが「みどり学」の人気講座たるゆえんであると思います。

人はみな自然を求めてやまないものです。そこには、心が癒されるものがあるからでしょう。外に出て、身近な自然に触れながら、そこから何かを学ぶ。そこに生きるよろこびや、幸せを感じることが出来ることでしょうか。それが、「みどり学」です。

**みどり学Ⅱ ワークショップ** ◇金曜日 午後1時15分～ ◇生涯学習プラザ/野外

『植物の不思議発見』

**樹木医 石井誠治ほか**

正式な授業が始まる前には「名あてクイズ」があります。ぐるぐる廻って10枚のスケッチを見ながらのおしゃべりは、「モチノキに似ているけど...」、「わかっているけど、名前が出てこない」「モクゲンジなら対生よ」。お互いに相談したり、図鑑をめくったり、けっこう盛りあがります。

13時15分からコの字型に座った受講生に向かって、午前の「みどり学」とは違った観点からの講師の話が始まります。パワーポイントを利用して種子の散布、外来植物、鳥と植物の関係などの講義と、途中には私たちに種子や葉っぱそのものを手にとって観察する機会もあります。「えんどう豆の豆はどこに付いているか?」、熟しても果鱗（松ぼっくりの鱗片）が開かないハイマツの松ぼっくりを手にとってホシガラスなどの話に及ぶこともあります。実物を手にとって見て観察する時は、大人が子供に戻ったかのように話しがはずみます。

野外に出る機会は、石井誠治先生と行くバスハイクの他に、受講生だけで行う少人数の野外観察会があります。文字通り自主参加型の学習です。日頃の勉強や体験をもとに観察をして仲間同士で質疑応答をする、これが本当のワークショップではないでしょうか?和気あいあいと切磋琢磨しながら、かつ、社会貢献をめざすワークショップです。

いのちの科学 講座 ◇火曜日 午前10時半～ ◇生涯学習プラザ

「広がる生命科学の世界 ～脳と遺伝の科学」

東京大学教授 石浦章一ほか

2012年前期の講座の一部をご紹介します。

石浦章一東京大学教授による「いつまでも老いない脳」、「健康な脳を造る食事」、田沼靖一東京理科大学教授による「死の遺伝子からの問いかけ」、「老化、寿命を科学する」、あるいは神経変性疾患（アルツハイマー病など）の治療やガン発症のメカニズムと治療、免疫系の疾患と治療、といった分野から最新の動向を踏まえて日本でもトップクラスの講師陣が分かりやすく解説してくれる、暮らしに直結したすばらしい講座です。

講義形式をとっていますが、途中の質問などは自由で、どの講師の方々も時にはジョークを交えアットホームな雰囲気の中で講義が進められています。このようなテーマを通して、健康な暮らし方、病気への理解と展望、あるいは新しい人生観の醸成などとともに、生命の奥深さの一端に触れることの出来るユニークな講座です。是非多くの方々の受講をお待ちしております。

いのちの科学 ワークショップ ◇火曜日 午後1時～ ◇生涯学習プラザ

「生命科学の多様な世界 ～生命科学の基礎をゆっくり学ぶ」

お茶の水女子大学 室伏きみ子研究室

いのちの科学のワークショップでは、「講座」の内容の理解をより良くしていくため、生命科学の基本の知識を学ぶことを主眼において進めて参ります。生命科学は、超複雑系ですが、基本的なしくみを理解することはとても大事です。しかもこの分野は日進月歩で、絶えず新しい発見、所見が毎日のように繰り広げられる活気ある分野です。基本を学びながら、最新の研究動向も知ることのできるユニークなワークショップとなることをめざします。

お茶ノ水女子大学大学院教授の室伏きみ子氏が中心となって、大学生レベルのテキストに沿って、体系的に進めてまいります。「細胞の働きとその制御のしくみ」、「老化とガンのしくみ」「遺伝情報の発現のしくみ」などです。

このほか任意参加ですが、課外ワークショップとして、前期は4月25日、26日に千葉館山にある御茶ノ水女子大学の臨海実験施設を使った、「ういの受精、分割卵の観察」などを予定しております。このような、課外での活動も今後できるだけ増やして参ります。多くの皆様の参加をお待ちしております。



「受講生のつどい」へのお誘い

日時：平成24年3月16日（金）13：15～15：30

今年も「受講生のつどい」を開催します。日頃話したことのないコーディネーターの先生方も多数出席なさいます。先生方や受講したことの無い講座の受講生と意見の交換をするよい機会です。多くの皆様の参加をお待ちしています。

『編集後記』 大空は 梅のにほひにかすみつつ くもりもはてぬ春の夜の月

梅の季節になりました。厳寒の中で凜とした姿と香りを放つ梅を見ると気が引き締まります。NPOも気を引き締めてアカデミーの運営を担ってゆきます。受講生の皆様からのご意見とご支援をお願いします。編集責任者：折居 晃一、田辺 初子、真田 強、笹子 まさえ